

2023_1113「浅間山の初冠雪（写真）」日々の理科 3385号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

浅間山の北麓の北軽井沢は、ここ数日非常に寒く、県道に設置してある気温計もついに「 -1°C 」を表示していました。日曜の晩にはみぞれまじりの雨も降っていて、翌朝の浅間山は恐らく「初冠雪」になるだろうと、地元の方と話をしていました。たしてその予報は当たって、翌朝（2023年11月13日）に、北軽井沢のカメラが雪で真っ白になった浅間山の山頂部をとらえていました。前橋地方気象台も本日（11月13日）、浅間山（群馬、長野両県）で初冠雪を観測したと発表しました。浅間山の初冠雪は、年々徐々に遅くなる傾向にあります。気象台によると、今年の初冠雪は平年より13日遅く、昨年より19日遅いそうです。

実は初冠雪だけでなく、麓の北軽井沢の雪も遅くなる傾向が顕著です。私が山荘を購入した2002年頃は、11月上旬か中旬には初雪、それは積もらなくても、12月中旬には雪景色になっていました。しかしここ数年はクリスマスになっても雪がなく、元旦になっても全く雪が積もっていないのが普通になりました。これも明らかに「気候変動」の一現象なのだと思います。

（2023年11月中旬／北軽井沢／東京から遠隔観測）

